

【収入保険】私の選択・加入者の声



「原木シイタケにはなかった保険」

【山形県三川町 石栗 聡さん（37）】

栽培規模＝水稲6ヘクタール、原木シイタケ年植約18,000本

集落の集会で、NOSAIの職員から収入保険が始まると聞きました。原木シイタケを栽培している自分にとっては、今まで補償の無い分野だったので興味を持ちました。

原木シイタケ栽培は現在、原木の価格が非常に高騰していることもあり、楢木（ほだぎ）作りを一度失敗すると、翌年の再生産が極めて困難で、廃業に追い込まれる可能性があります。また、突発的な自然災害への不安もあったので、それらのリスクを回避するために加入しました。

同規模で、品質を保ちながら生産性を向上させる栽培方法には、リスクが伴います。収入保険の補償ができたことで、その栽培方法に取り組めるようになりました。

（NOSAI山形広報紙「NOSAIやまがた」2019年9月号より）